

2026年9月の出来事

台風24・25号の発生、秋雨前線の影響など、各地で大雨による被害が相次ぎました。また、ネパールの氷河崩落による水害など、世界各地でもさまざまな災害が起こっています。亡くなられた方々、被災された方々のために心からお祈りし、一人ひとりができる支援を考えていきましょう。

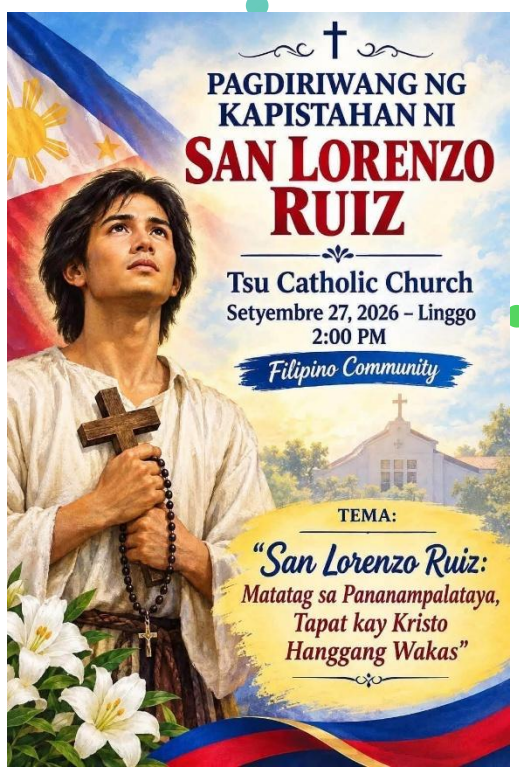


フィリピン・コミュニティー





9月13日（日）14 :00～
聖母マリアの誕生（記念日：9月8日）
を祝うミサ



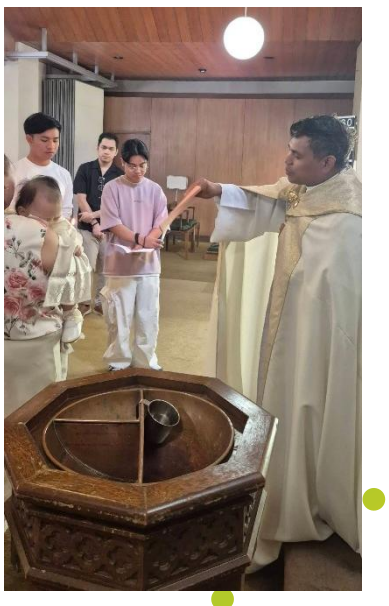






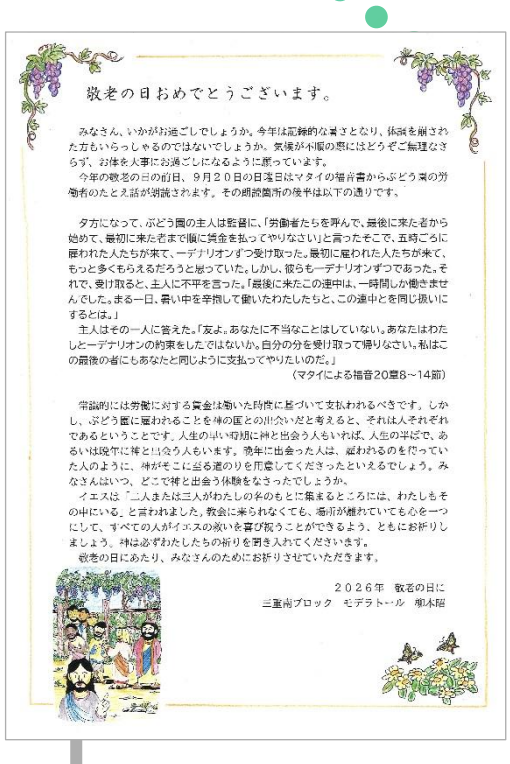
9月27日（日）14:00～
聖ロレンソ・ルイス
（聖トマス西司祭と十五殉教者のひとりでフィリピン人の殉教者。
記念日：9月 28 日）記念ミサ

洗礼式



9月14日に1名、9月19日に2名の赤ちゃんが受洗しました。

おめでとう！



敬老の日おめでとうございます。

みなさん、いかがお過ごしでしょうか。今年は記録的な暑さとなり、体調を崩された方もいらっしゃるのではないでしょうか。気候が不順の恩にはどうぞご無理なさらず、お体を大事にお過ごしになるように願っています。

今年の敬老の日の前日、９月２０日の日落日はマタイの福音書からぶどう園の労働者のたとえ話が朗読されます。その朗読箇所の後半は以下の通りです。

夕方になって、ぶどう園の主人は監督に、「労働者たちを呼んで、最後に来た者から始めて、最初に来た者まで順に賃金を払ってやりなさい」と言ったそこで、五時ごろに雇われた人たちが来て、一デナリオンずつ受け取った。最初に雇われた人たちが来て、もっと多くもらえるだろうと思っていた。しかし、彼らも一デナリオンずつであった。それで、受け取ると、主人に不平を言った。「最後に来たこの連中は、一時間しか働きませんでした。まる一日、暑い中を辛抱して働いたわたしたちと、この連中とを同じ扱いにするとは。」

主人はその一人に答えた。「友よ。あなたに不当なことはしていない。あなたはわたしと一デナリオンの約束をしたではないか。自分の分を受け取って帰りなさい。私はこの最後の者にもあなたと同じように支払ってやりたいのだ。」

（マタイによる福音20章8～14節）

常識的には労働に対する賃金は働いた時間に基づいて支払われるべきです。しかし、ぶどう園に雇われることを神の国との出会いだと考えると、それは人それぞれであるということです。人生の早い段階に神と出会う人もいれば、人生の半ばで、あるいは晩年に神と出会う人もいます。晩年に出会った人は、威われるのを待っていた人のように、神がそこに至る道のりを配慮してくださったといえるでしょう。みなさんはいつ、どこで神と出会う体験をなさったでしょうか。

イエスは「二人または三人がわたしの名のもとに集まるところには、わたしもその中にいる。」と言われました。教会に来られなくても、場所が離れていても心を一つにして、すべての人がイエスの救いを喜び祝うことができるよう、ともにお祈りしましょう。神は必ずわたしたちの祈りを聞き入れてくださいます。

敬老の日にあたり、みなさんのためにお祈りさせていただきます。

２０２６年　敬老の日に
三重南ブロック　モデラトール　柳本陽

9月19日（土）、9月20日（日）敬老の日の祝福

9月 19 日土曜日 18 時半ミサと 9月 20 日日曜日9時ミサの中で敬老の日の祝福があり、柳本神父からのメッセージが配られました。



9月19日（土）10:00～第3回 創立 150 周年行事会議

今回は行事の内容・会場などについて、じっくり話し合いました。方向性などについてはまとまった時点で発表いたします。

カトリック津教会　2026.10.01